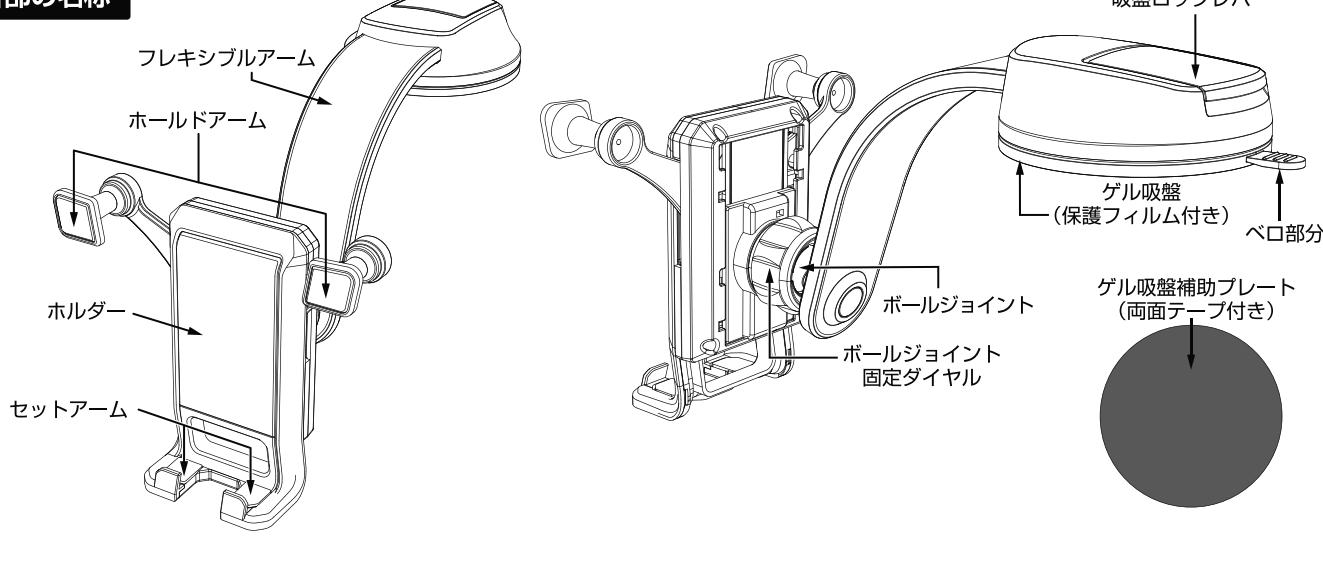


取り扱い説明書

各部の名称



取り付け方法

1) ゲル吸盤を貼り付ける場所の汚れを拭き取り、油分を中性洗剤等で確実に脱脂してください。
※ホコリや油分等で汚れていると確実な吸着ができません。



2) ゲル吸盤補助プレート裏面の赤色の剥離紙をはがし、取り付け位置へしっかりと貼り付けます。

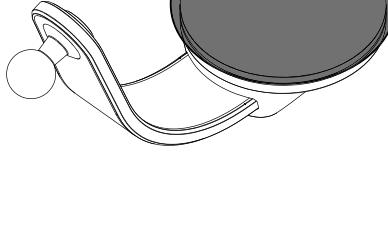
※曲面の貼り付けは避けてください。
※貼り付け後24時間は貼り付け強度が完全ではないため、取り付け後に脱落するおそれがあります。



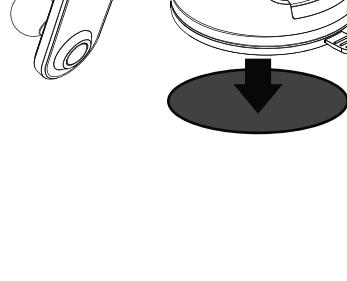
3) 吸盤ロックレバーを引き上げてロックを解除します。



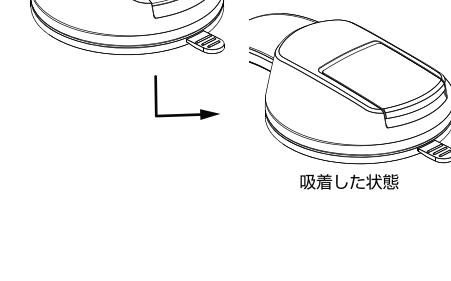
4) ゲル吸盤に貼られている透明の保護フィルムをはがします。



5) ゲル吸盤面を下にして、ゲル吸盤補助シートへゆっくり圧着していきます。

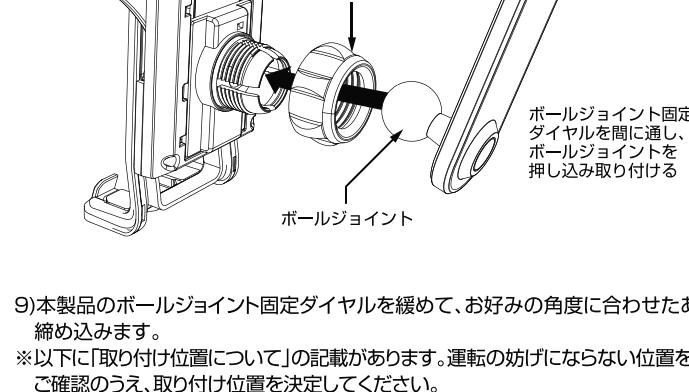


6) ゲル吸盤を確実に圧着した後、吸盤ロックレバーを下ろして吸着させます。
※吸盤内部に空気の多い状態では、確実なゲル吸盤での保持ができません。



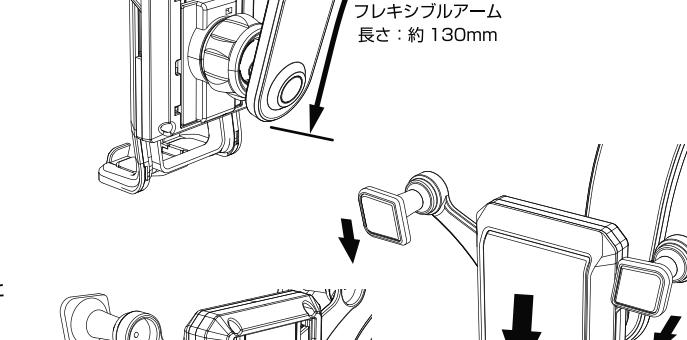
7) 本製品のボールジョイント固定ダイヤルを取り出し、下図を参考に組み立てます。

※ボールジョイントは強く押し込むことで取り付けができます。



8) ホールドするスマートフォンや設置場所にあわせて、フレキシブルアームを曲げて好みの向き・角度に調整してください。

ゲル吸盤からボールジョイント先端まで約150mmです。



※前方に傾けた状態での固定は、スマートフォンが落下するおそれがあるのでおやめください。

※スマートフォンをホールドした際に、ホルダー部分が最大で約15mm下がります。

必ずホルダー部分が下がった状態で取り付け

場所周辺にスペースがあることを確認して

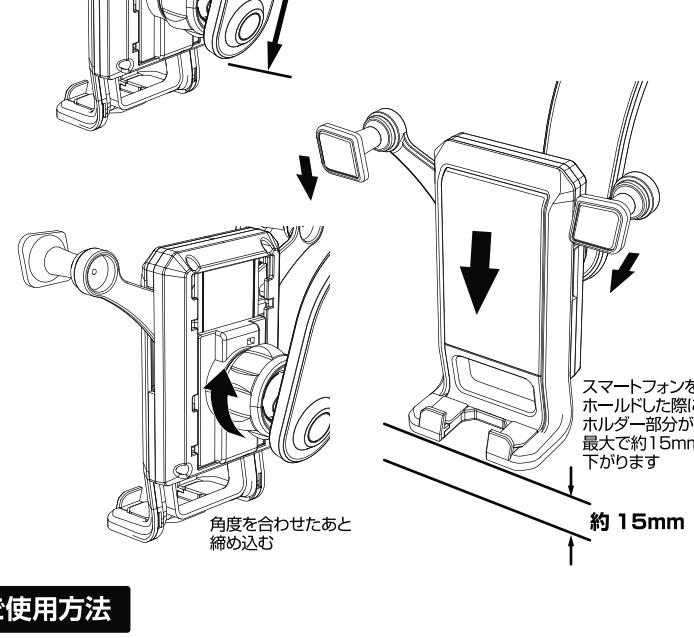
ください。

※本革、合成皮革、布地、ウレタン等、曲率の

大きい曲面、大きな凹凸のある面等の

ダッシュボードには取り付けができません。

スマートフォンをホールドした際にホルダー部分が最大で約15mm下がります。



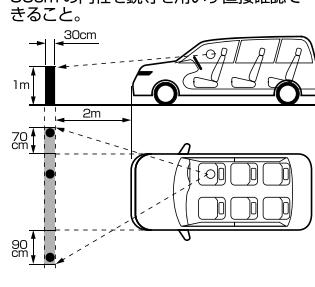
取り付け位置について

国土交通省の定める保安基準に適合させるため、下図のように、運転者の視界を妨げないように本製品を取り付けてください。また、フロントガラス、側面ガラスへの取り付けは、保安基準に不適合となりますので、絶対におやめください。

下図は右ハンドル車の例です。左ハンドル車の場合、左右逆になります。

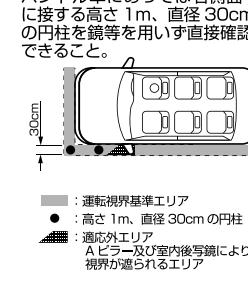
前方視界基準

<基準概要>
自動車の前方2mにある高さ1m、直径30cmの円柱を鏡等を用いて直接確認できること。



直前直左視界基準

<基準概要>
自動車の前面及び左側面(左ハンドル車にあっては右側面)に接する高さ1m、直径30cmの円柱を鏡等を用いて直接確認できること。



ご使用方法

セットアームの上へ静かにスマートフォンを置きます。ホルダー部分がスマートフォンの自重で下がり、アーム部分が可動してスマートフォンを固定します。縦置き/横置きともに、スマートフォンをセットアームの上に置くだけでホールドできます。

※スマートフォンをホールドする際、以下の図のようにセットアームの中心付近とスマートフォンの中心をあわせるように置いてください。中心からずれて置いた場合、うまくホールドされない場合があります。

ホールド可能なスマートフォンのサイズ・重量

縦置き時	幅 約65mm ～ 約85mm
横置き時	高さ 約65mm ～ 約80mm
重量	約130g ～ 約250g まで
厚み	約12mm まで

※130g以下の場合は、自重が不足となりホルダーが可動せず完全にホールドできない場合があります。

